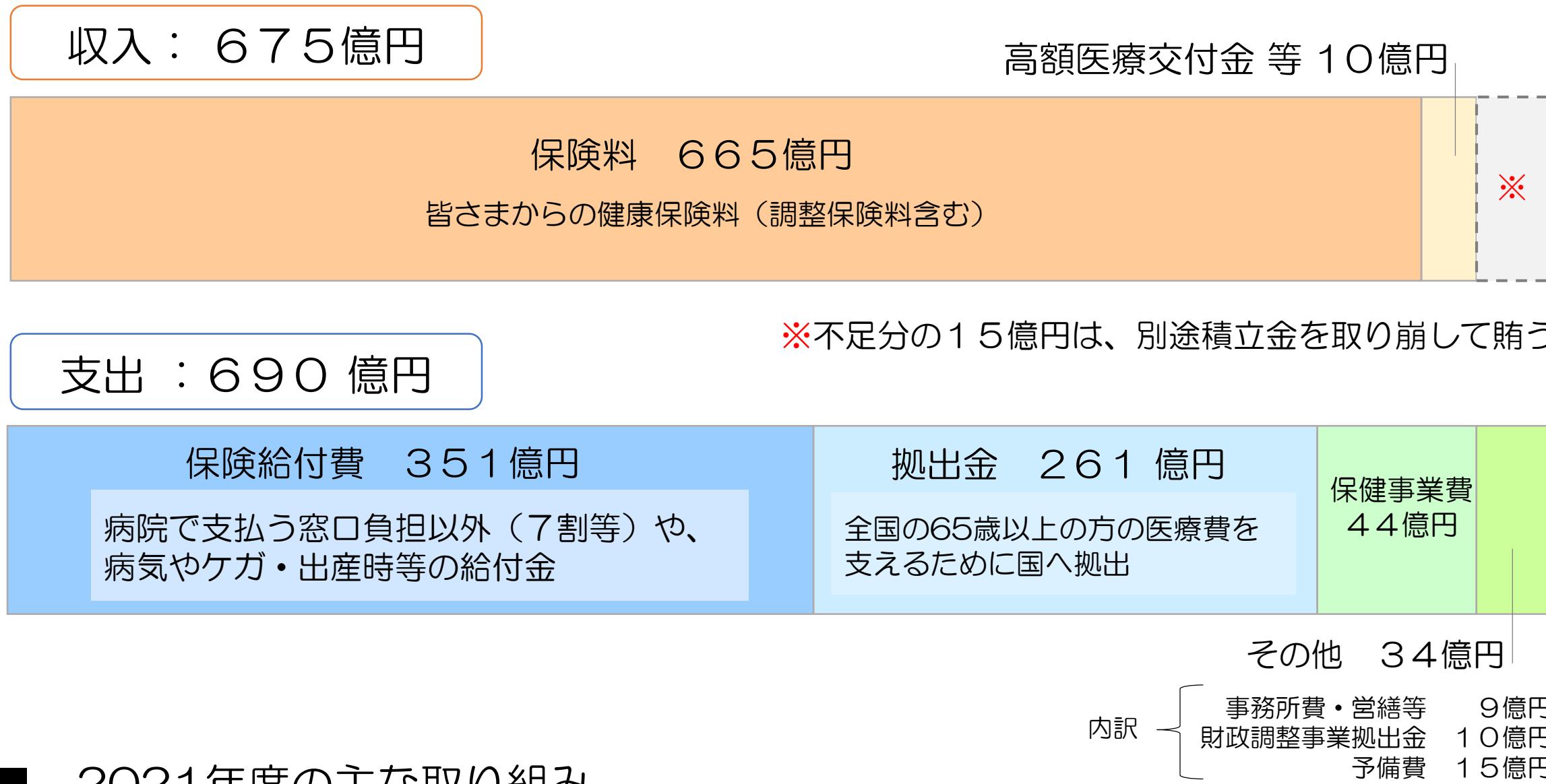


# 2021年度 富士通健康保険組合 予算のご案内

2021年度は、保険料率(8.8%)を維持し収入は675億円を見込んでいます。支出690億円のうち、保険給付費は新型コロナウィルス拡大の影響により予測が難しい状況ですが、351億円を見込んでいます。拠出金は、引き続き増加傾向にあり、前年度予算比+9億円の261億円としています。

今年度も、みなさまの健康保持・増進に向けた施策を進めてまいりますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

## ■ 2021年度予算



## ■ 2021年度の主な取り組み

1. 社員と家族の健康意識・行動の向上を支える施策の推進
  - (1) 予防
    - kencomを利用したウォーキングイベントの継続開催・家族利用に向けた検討
    - 若年層のメタボ予防のため、ICTを活用した保健指導を実施
    - 歯科検診の推進、予防歯科への意識向上に向けた取り組みの拡大
    - 喫煙対策
    - がん健診の効果測定と結果の展開活用
    - メンタルヘルス施策 等
  - (2) 早期発見・早期治療
    - ICTを活用した保健指導の推進
    - 重症化予防対策
    - 女性社員のがん予防 多様な働き方に対応した健診の受診方法の整備
    - 配偶者健診 LINE等を活用した受診率向上施策の実施、精密検査トライアルの実施

- 特例退職被保険者とその家族の健康保持・増進
- 自律的な健康活動を促進するための「ヘルスアップF@mily」の活用（アプリ化検討） 等
- (3) スポーツクラブのオンラインサービスの検討
  - 在宅勤務が増加する中、スポーツクラブをオンラインで活用できるようサービスの拡充を検討
- 2. 富士通グループの健康推進体制・基盤充実
  - 健康推進関連部門との連携、施策の推進
  - 健康通信簿（事業所への事例の横展開や支援活動の推進、ダッシュボード化の検討）
  - ニューノーマルにおける健診のあり方検討 等
- 3. その他
  - (1) 医療費の適正化への取り組み
    - 柔道整復、鍼灸、あん摩・マッサージ、治療用装具についての審査強化 等
  - (2) 保養所の多様な宿泊形態の導入
    - 仕事と休暇を両立する「スマートプラン」（ワーケーション）の展開（最大6泊利用等）